



Subaru

男声合唱団 ニュース№695

19. 6. 24

## 13コンサート曲「DINDARU DANDARU」初レッスン！ 最終小節まで読譜し、合唱する！

6月21日

□ 6月21日(金) 18:00～20:30 昂定例レッスンが開催されました。

佃さんの体操・吉岡さんの滑舌訓練・千秋さんのヴォイストレーニングにはじまり、今日は副指揮者・伊藤さんの指揮で、13回コンサートの演奏曲「DINDARU DANDARU」をはじめてレッスンにのせました。



「DINDARU DANDARU」(ディンダル ダンダル)はバルト三国の一つであるラトビアのフォークソングで、男女が輪になり、歌いながら舞台の上を動き回る・・“ディンダル ダンダル ディンダル ダンダル”(オニマトベの擬声語)と各パートが重なりながら、また交代で、繰り返し歌い、その声をベースにしてそのリズムの上にラトビア語で各パートが主題の詞を掛け合いのように歌い合う混声合唱を男声で歌う！ 言葉の意味は原語ではわからなくとも、その軽快なメロディ、リズム感、高音・中音・低音のハーモニーに心がワクワクしてくる、その音楽性をまず評価して、この曲の持つ魅力を引き出す合唱にしていきましょう。

今日は、初めて声を合わせる練習となり、まず楽譜にかじりつく(?)ように、各パートごとに(2部に分かれて)、1小節ずつ、正しい音程とリズムと言葉を確認して声を出し、そして、2つのパートで、次に4パートで合わせて合唱する・・・指揮者の熱意ある指導のもと、集中力を切らさずに最後の小節まで楽譜を声にして、「DINDARU DANDARU」を歌い切りました。(1曲で1時間30分！)

最後に、「UBoj!」を覚える「自己レッスンのすすめ」の方法について、指揮者からの具体的な説明があり、今日の練習を終えました。ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全31名でした。

## 連絡事項

(1) 直近のレッスン日：6月30日(日) 14:00~17:00 休まないように!

指揮：本並・伊藤 ピアノ：森

### 練習曲目(予定)

- DINDARU DANDARU
- U Boj!
- 草競馬
- 懐かしのケンタッキーの我が家
- 方正の青い空
- ゆらゆら春(富樫さんソロ)
- 日々草・朝露

なお、7月5日(金)は、エストニア・タリン公演があり、練習休み!

パートレッスンや声楽教室等があります。「昴 レッスン他行事予定」を参考にして、日時の変更等確認してください。

## 昴13回コンサート コーナー

### 「DINDARU DANDARU」について(楽譜出版社からの解説)

作曲者：JEKABSONE, Laura (ラウラ・ジェカブソン)

編曲者：

アーティスト：Latvian Voices

作詞者：ラトビア民謡

声部数：4

声部編成：SATB div.

伴奏：アカペラ

言語1：ラトヴィア語 言語2：英語

出版社：Musica Baltica

ラトビアン・ボイシズのリーダーであるラウラ・ジェカブソンは作曲家としても活躍しており、ラトビアン・ボイシズをはじめラトビア内外の合唱団にレパートリーを提供しています。

この「Dindaru dandaru」は、有名なラトビア民謡をもとにした作品で、彼女の代表作のひとつで、多くの合唱団によって演奏されています。倍音唱法を用いた幻想的な音の中に、野生的なソプラノとテノールソロがこだまする印象的なオープニングから始まり、「エーッ! エーッ!」という掛け声を合図にリズムカルなメロディと囃子言葉が繰り返されます。中間部はしっとりとメロディとハーモニーを聴かせ、再び冒頭と同じリズムに乗せて、最後は全員で力強いハーモニーを歌います。特に楽譜上に指示があるわけではありませんが、合唱団が移動しながら歌うなどの空間演出や、打楽器を伴って演奏されることも多く、高い演奏効果を生むことでしょう。